

ボッチャ交流行事推進事業

目的・ねらい

障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるパラスポーツとして多くの学校が取り組んでいるボッチャを通じた交流行事を推進することにより、地域全体で幼児・児童・生徒の障害者理解の促進に取り組むとともに、共生・共助社会の実現を図る。

取組・活動内容

①実施時期

平成31年度、令和2年度、令和3年度 計3回実施

②実施規模

各年度2地区

③取組・活動内容

・毎年、区部から一地区、市部から一地区を指定した。地区ごとに、幼児・児童・生徒・地域住民等がボッチャを通じて交流する行事を実施し、地域全体で幼児・児童・生徒の障害者理解促進に取り組んだ。具体的には、地域内の学校を集めてボッチャ体験、校内ボッチャ交流大会（講習会を合わせて実施）や、地域内学校と特別支援学級・地域内施設との交流会を実施した。東京都教育委員会は実施費用やボッチャ用具の貸出を支援した。

本取組・活動の成果

- パラスポーツであるボッチャを通じた交流により、障害者理解を深めるとともに、パラスポーツへの興味・関心を高めることができた。子供からは、「誰もが楽しめるスポーツですごく楽しかった」「もっとボッチャをやりたい」「校内でボッチャ大会をしたい」などの、感想が寄せられた。
- 異校種での交流活動の実施により、子供が互いに学び合うことで、共生・共助について考える機会となった。
- 高い運動能力に依存せずに、様々な人が活躍できるスポーツであるボッチャを通じた活動により、普段運動が苦手な子供にも、スポーツに対する自己有用感を与えることができた。
- ボッチャセットの貸出により、地域内の各学校・園が活用することができ、地域全体でのボッチャ体験を実施した。

活動の様子

